



高水地協ニュース

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

連 合 長 野
高水地域協議会

○ 発行責任者 小林 君男
○ 編集責任者 岩本 淳一

<号外>

衆議院議員選挙

選挙戦は大詰め。全員で『しのはら孝』必勝の行動を！

衆議院議員選挙の投票日が今度の日曜日（12月14日）に迫り、各紙による第1区の世論調査は「民主党“しのはら孝”が勝つか、自民党が勝つかは予断を許さない状況だ」と伝えており、支持者全員が本気で取り組まなければ勝機を失いかねません。

連合長野は、各地協に対して推薦候補者の必勝に向けた選挙戦終盤の「連合4運動」の行動要請を行っています。具体的には構成単組に対して、①組合員との総対話運動、②投票に行こう！運動、③期日前投票促進運動、④選挙違反しない、させない運動の4つです。このことを念頭に是非、貴労組・組合員の積極的なご支援ご協力をお願い致します。

みんなで呼び掛け合いましょう。「選挙に行こう！！」

「棄権や白紙投票で抗議」は逆効果

棄権や白紙投票は、事実上の「政治に不満がない」という意思表示。無条件の白紙委任と同じ効果しか及ぼしません。それが日本の選挙制度なのです。そもそも棄権や白紙投票は候補者の落選に全く影響を与えず、選挙権は「権利」ですから、行使されない権利は無視されるだけです。政治に私たちの思いを伝えるには投票という方法でしかありません。今の政治への怒りを持って、一票を託すに相応しい政治家“しのはら孝”を育てていく力に変えていきましょう。投票の後も不断に政治に関わっていく。それが「国民主権」の正しいあり方です。

自分の一票では何も変わらない？

そんなことはありません。「自分一人、投票してもしなくても、世の中何も変わらない」という人もいます。確かに何万、何十万、何百万人中の一人ということを考えれば、そう

かも知れませんが、衆院選の小選挙区制は“死に票”が多く、投票意欲を削がれることがしばしばです。しかし、ちょっと視点を変えて考えて下さい。一人の「選挙に行こう」「最善の選択をしよう」という意欲は、それが「君も行こう」「貴方も行こう」という呼びかけを伴った時、どれほどの波紋となって広がっていくのでしょうか。

一人黙り込んでいるだけなら確かに何も変わらない

だからこそ、周囲の人々と「選挙って大切だね」と語り合うことで、そのメッセージが人から人へと伝播して、最終的には何十人何百人、もしかしたら何千人、何万人の心に届いていく可能性だってあるのです。ましてや、今はネット時代。一昔前なら著名人しか持ち得なかった影響力を、誰もが発揮していける時代です。一人の力も決して捨てたものではありません。

みんなで投票を呼び掛け合おう

「投票に行こう」という呼びかけは、選挙運動には当たりませんから、公職選挙法の規制を受けません。誰でも、いつ（選挙期間前・期間中・投票当日）でも、どんな方法（電話、手紙、ブログやSNS、Twitterなど）でも、自由に行うことができます。「一緒に行こう」と誘い合ったりすることも、まったく自由です。どんどん呼びかけを広げて、少なくとも自分の手の届く範囲の人々の投票率は「100%」をめざしましょう。

一票にみんなの願いを乗せて

まだ選挙権を持たない子供たち、言葉は話さなくても大切な家族の一員である動物たち、そして自然界のたくさんの生き物たち。私たちの一票には、そうした命の未来も託されています。そんなみんなの願いも乗せて、貴方の清き一票を必ず行使して下さい。

以上



生活者・労働者の立場に立つ、一票を託すに相応しい政治家

衆議院議員候補者 『しのはら 孝』

